

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【公開番号】特開2011-34350(P2011-34350A)

【公開日】平成23年2月17日(2011.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-007

【出願番号】特願2009-179938(P2009-179938)

【国際特許分類】

G 06 Q 30/06 (2012.01)

G 06 Q 50/12 (2012.01)

G 06 Q 10/00 (2012.01)

【F I】

G 06 F 17/60 3 2 2

G 06 F 17/60 1 3 0

G 06 F 17/60 5 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月8日(2012.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のメンバから成るグループを構成する各メンバの端末と、該グループを代表する幹事がWebページを介して行う宿泊プランの予約手続を支援するサーバシステムとが通信ネットワークを介して接続しているグループ予約支援システムのサーバシステムであって、

予約番号に対応させて、幹事の識別情報、宿泊プランの識別情報及び該宿泊プランの注文数を記憶することができる予約情報記憶手段と、

仮予約番号に対応させて、幹事の識別情報、宿泊プランの識別情報、該宿泊プランの仮注文数及び参加決定済メンバ数を記憶することができる仮予約情報記憶手段と  
にアクセス可能であり、

前記幹事の識別情報と、前記宿泊プランの識別情報と、該宿泊プランの仮注文数とを該幹事の端末から受信する仮予約申請情報受信手段と、

前記受信した各項目を仮予約番号に対応付けて前記仮予約情報記憶手段に書き込む仮予約情報登録手段と、

前記仮予約番号に対応する仮予約識別データを少なくとも含む承認依頼メールを生成し、該承認依頼メールを前記幹事以外の各メンバの端末に送信する承認依頼メール生成送信手段と、

前記幹事以外のメンバの端末から前記仮予約識別データを含む回答データを受信する回答受付手段と、

前記仮予約識別データから識別される前記仮予約番号に対応し、且つ前記回答データに基づいて更新された前記参加決定済メンバ数を取得し、該参加決定済メンバ数を宿泊プランの定員で除して得られる商以上で最小の自然数を算出し、該仮予約番号に対応する注文数を該自然数に確定する第一の注文数確定手段と、

注文数が確定した仮予約番号に対応する幹事の識別情報及び宿泊プランの識別情報と該確定した注文数とを予約番号に対応付けて前記予約情報記憶手段に書き込む予約情報登録

手段と、  
を備える

ことを特徴とするサーバシステム。

【請求項 2】

宿泊プランの識別情報に対応させて、該宿泊プランの定員及び該宿泊プランの在庫数を記憶している宿泊プラン情報記憶手段にさらにアクセス可能であり、

前記仮予約情報登録手段が、前記受信した宿泊プランの識別情報に対応する在庫数を前記宿泊プラン情報記憶手段より読み出し、該在庫数が前記受信した仮注文数以上であれば、該宿泊プラン情報記憶手段に記憶している該在庫数から該仮注文数を減算するとともに、前記受信した各項目を仮予約番号に対応付けて前記仮予約情報記憶手段に書き込む、請求項 1 に記載のサーバシステム。

【請求項 3】

注文数が確定した仮予約番号に対応する宿泊プランの識別情報と仮注文数とを前記仮予約情報記憶手段より読み出し、前記宿泊プラン情報記憶手段に記憶している該宿泊プランの識別情報に対応する在庫数に、該仮注文数と該確定した注文数との差を加算する仮予約一部解除手段を更に備える

ことを特徴とする請求項 2 に記載のサーバシステム。

【請求項 4】

前記識別した仮予約番号に対応する仮注文数を前記仮予約情報記憶手段より読み出し、前記更新後の参加決定済メンバ数が宿泊プランの定員と該仮注文数との積に等しいとき、該仮予約番号に対応する注文数を該仮注文数に確定する第二の注文数確定手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のサーバシステム。

【請求項 5】

前記仮予約情報記憶手段は、前記仮予約番号に対応させて、回答期限をさらに記憶することが可能であり、

前記仮予約申請情報受信手段は、回答期限をさらに受信し、

前記仮予約情報登録手段は、前記受信した回答期限を前記仮予約番号に対応付けて前記仮予約情報記憶手段にさらに書き込み、

前記第一の注文数確定手段は、前記仮予約情報記憶手段に記憶しているいずれかの仮予約番号に対応する回答期限が経過しているとき、該承認期限が経過している仮予約番号を特定し、該特定した仮予約番号に対応する注文数を確定する

ことを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のサーバシステム。

【請求項 6】

いずれかのメンバの端末から仮予約番号を指定したページ送信要求を受信したとき、該指定された仮予約番号に対応する参加決定済メンバ数を前記仮予約情報記憶手段より読み出し、該参加決定済メンバ数を宿泊プランの定員で除して得られる商以下で最大の整数を算出し、該整数を用いて予約の確定見込数に関する事項を含む仮予約確認ページを生成する仮予約確認ページ生成手段と、

前記生成した仮予約確認ページを前記メンバの端末に送信する仮予約確認ページ送信手段と

をさらに備える

ことを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のサーバシステム。

【請求項 7】

前記仮予約情報記憶手段は、前記仮予約番号に対応させて、各メンバのメールアドレス及び該各メンバが承認済であるか否かを示す承認フラグをさらに記憶することが可能であり、

前記特定した各メールアドレスに対応するメンバを特定する情報を、前記仮予約番号に対応付けて前記仮予約情報記憶手段に書き込むメンバ情報登録手段をさらに備え、

前記承認依頼メール生成送信手段は、メンバを特定する情報に対応するメンバ識別デー

タをさらに含む承認依頼メールを生成し、該承認依頼メールを各メンバ識別データに対応するメンバのメールアドレス宛にそれぞれ送信し、

前記回答受付手段は、前記メンバ識別データを更に含む前記回答データを前記メンバの端末から受信したとき、該メンバ識別データに対応するメンバをさらに識別し、前記仮予約情報記憶手段に記憶している前記仮予約番号と該識別したメンバを特定する情報とに対応する承認フラグを立て、

前記仮予約確認ページ生成手段は、前記仮予約番号に対応する各メンバを特定する情報と承認フラグとを前記仮予約情報記憶手段よりさらに読み出し、該各メンバを特定する情報と承認フラグとをさらに用いて各メンバの回答状況に関する事項をさらに含む仮予約確認ページを生成する

ことを特徴とする請求項 6 に記載のサーバシステム。

#### 【請求項 8】

前記仮予約確認ページ生成手段は、前記識別したメンバが幹事であれば、前記指定された仮予約番号に係る仮予約について予約の成否を確定させるための予約確定要素をさらに含む仮予約確認ページを生成し、

前記予約確定要素の識別データを少なくとも含む予約確定要求を前記幹事の端末から受信する予約確定要求受信手段をさらに備え、

前記第一の注文数確定手段は、前記予約確定要求を受信したとき、該予約確定要求に係る仮予約番号を特定し、該特定した仮予約番号に対応する注文数を確定する

ことを特徴とする請求項 6 又は 7 に記載のサーバシステム。

#### 【請求項 9】

施設の識別情報と、宿泊日と、客室の部屋タイプとに対応させて、該部屋タイプの空室数を記憶している施設情報記憶手段にさらにアクセス可能であり、

前記宿泊プラン情報記憶手段は、前記宿泊プランの識別情報に対応させて、施設の識別情報と、宿泊日と、客室の部屋タイプとをさらに記憶しており、

前記仮予約情報記憶手段に記憶しているいずれかの在庫数が一定の更新処理により変動したとき、該変動した在庫数に対応する施設の識別情報と宿泊日と客室の部屋タイプとの組を前記宿泊プラン情報記憶手段より読み出し、前記施設情報記憶手段に記憶している該組に対応する空室数に対して該更新処理と同一の更新処理を実行する空室数更新手段をさらに備える

ことを特徴とする請求項 2 ~ 8 のいずれか一項に記載のサーバシステム。

#### 【請求項 10】

複数のメンバから成るグループを構成する各メンバの端末と、該グループを代表する幹事がWebページを介して行う宿泊プランの予約手続を支援するサーバシステムとが通信ネットワークを介して接続しているグループ予約支援システムにおけるグループ予約支援方法であって、

予約番号に対応させて、幹事の識別情報、宿泊プランの識別情報及び該宿泊プランの注文数を記憶することが可能な予約情報記憶手段と、

仮予約番号に対応させて、幹事の識別情報、宿泊プランの識別情報、該宿泊プランの仮注文数及び参加決定済メンバ数を記憶することが可能な仮予約情報記憶手段と

にアクセス可能なサーバシステムが、

前記幹事の識別情報と、前記宿泊プランの識別情報と、該宿泊プランの仮注文数とを該幹事の端末から受信する仮予約申請情報受信ステップと、

前記受信した各項目を仮予約番号に対応付けて前記仮予約情報記憶手段に書き込む仮予約情報登録ステップと、

前記仮予約番号に対応する仮予約識別データを少なくとも含む承認依頼メール承認依頼メールを生成し、該承認依頼メールを前記幹事以外の各メンバの端末に送信する承認依頼メール生成送信ステップと、

前記幹事以外のメンバの端末から前記仮予約識別データを含む回答データを受信する回答受付ステップと、

前記仮予約識別データから識別される前記仮予約番号に対応し、且つ前記回答データに基づいて更新された前記参加決定済メンバ数を取得し、該参加決定済メンバ数を宿泊プランの定員で除して得られる商以上で最小の自然数を算出し、該仮予約番号に対応する注文数を該自然数に確定する第一の注文数確定ステップと、

注文数が確定した仮予約番号に対応する幹事の識別情報及び宿泊プランの識別情報と該確定した注文数とを予約番号に対応付けて前記予約情報記憶手段に書き込む予約情報登録ステップと、

を実行することを特徴とするグループ予約支援方法。

#### 【請求項 1 1】

複数のメンバから成るグループを構成する各メンバの端末と、該グループを代表する幹事がWebページを介して行う宿泊プランの予約手続を支援するサーバシステムとが通信ネットワークを介して接続しているグループ予約支援システムにおけるグループ予約支援プログラムであって、

予約番号に対応させて、幹事の識別情報、宿泊プランの識別情報及び該宿泊プランの注文数を記憶することが可能な予約情報記憶手段と、

仮予約番号に対応させて、幹事の識別情報、宿泊プランの識別情報、該宿泊プランの仮注文数及び参加決定済メンバ数を記憶することが可能な仮予約情報記憶手段と

にアクセス可能なサーバシステムに、

前記幹事の識別情報と、前記宿泊プランの識別情報と、該宿泊プランの仮注文数とを該幹事の端末から受信する仮予約申請情報受信ステップと、

前記受信した各項目を仮予約番号に対応付けて前記仮予約情報記憶手段に書き込む仮予約情報登録ステップと、

前記仮予約番号に対応する仮予約識別データを少なくとも含む承認依頼メール承認依頼メールを生成し、前記幹事以外の各メンバの端末に送信する承認依頼メール生成送信ステップと、

前記幹事以外のメンバの端末から前記仮予約識別データを含む回答データを受信する回答受付ステップと、

前記仮予約識別データから識別される前記仮予約番号に対応し、且つ前記回答データに基づいて更新された前記参加決定済メンバ数を取得し、該参加決定済メンバ数を宿泊プランの定員で除して得られる商以上で最小の自然数を算出し、該仮予約番号に対応する注文数を該自然数に確定する第一の注文数確定ステップと、

注文数が確定した仮予約番号に対応する幹事の識別情報及び宿泊プランの識別情報と該確定した注文数とを予約番号に対応付けて前記予約情報記憶手段に書き込む予約情報登録ステップと、

を実行させるためのグループ予約支援プログラム。

#### 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記課題を解決するため、本発明の一形態は、複数のメンバから成るグループを構成する各メンバの端末と、該グループを代表する幹事がWebページを介して行う宿泊プランの予約手続を支援するサーバシステムとが通信ネットワークを介して接続しているグループ予約支援システムのサーバシステムであって、予約番号に対応させて、幹事の識別情報、宿泊プランの識別情報及び該宿泊プランの注文数を記憶することが可能な予約情報記憶手段と、仮予約番号に対応させて、幹事の識別情報、宿泊プランの識別情報、該宿泊プランの仮注文数及び参加決定済メンバ数を記憶することが可能な仮予約情報記憶手段とにアクセス可能であり、前記幹事の識別情報と、前記宿泊プランの識別情報と、該宿泊プランの仮注文数とを該幹事の端末から受信する仮予約申請情報受信手段と、前記受信した各項

目を仮予約番号に対応付けて前記仮予約情報記憶手段に書き込む仮予約情報登録手段と、前記仮予約番号に対応する仮予約識別データを少なくとも含む承認依頼メールを生成し、該承認依頼メールを前記幹事以外の各メンバの端末に送信する承認依頼メール生成送信手段と、前記幹事以外のメンバの端末から前記仮予約識別データを含む回答データを受信する回答受付手段と、前記仮予約識別データから識別される前記仮予約番号に対応し、且つ前記回答データに基づいて更新された前記参加決定済メンバ数を取得し、該参加決定済メンバ数を宿泊プランの定員で除して得られる商以上で最小の自然数を算出し、該仮予約番号に対応する注文数を該自然数に確定する第一の注文数確定手段と、注文数が確定した仮予約番号に対応する幹事の識別情報及び宿泊プランの識別情報と該確定した注文数とを予約番号に対応付けて前記予約情報記憶手段に書き込む予約情報登録手段と、を備えることを特徴とする。

別の形態に係るサーバシステムでは、宿泊プランの識別情報に対応させて、該宿泊プランの定員及び該宿泊プランの在庫数を記憶している宿泊プラン情報記憶手段にさらにアクセス可能であり、前記仮予約情報登録手段が、前記受信した宿泊プランの識別情報に対応する在庫数を前記宿泊プラン情報記憶手段より読み出し、該在庫数が前記受信した仮注文数以上であれば、該宿泊プラン情報記憶手段に記憶している該在庫数から該仮注文数を減算するとともに、前記受信した各項目を仮予約番号に対応付けて前記仮予約情報記憶手段に書き込んでもよい。

更に別の形態に係るサーバシステムは、注文数が確定した仮予約番号に対応する宿泊プランの識別情報と仮注文数とを前記仮予約情報記憶手段より読み出し、前記宿泊プラン情報記憶手段に記憶している該宿泊プランの識別情報に対応する在庫数に、該仮注文数と該確定した注文数との差を加算する仮予約一部解除手段を更に備えてもよい。

#### 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

前記仮予約情報記憶手段は、前記仮予約番号に対応させて、各メンバのメールアドレス及び該各メンバが承認済であるか否かを示す承認フラグをさらに記憶することが可能であり、前記特定した各メールアドレスに対応するメンバを特定する情報を、前記仮予約番号に対応付けて前記仮予約情報記憶手段に書き込むメンバ情報登録手段をさらに備え、前記承認依頼メール生成送信手段は、メンバを特定する情報に対応するメンバ識別データをさらに含む承認依頼メールを生成し、該承認依頼メールを各メンバ識別データに対応するメンバのメールアドレス宛にそれぞれ送信し、前記回答受付手段は、前記メンバ識別データを更に含む前記回答データを前記メンバの端末から受信したとき、該メンバ識別データに対応するメンバをさらに識別し、前記仮予約情報記憶手段に記憶している前記仮予約番号と該識別したメンバを特定する情報とに対応する承認フラグを立て、前記仮予約確認ページ生成手段は、前記仮予約番号に対応する各メンバを特定する情報と承認フラグとを前記仮予約情報記憶手段よりさらに読み出し、該各メンバを特定する情報と承認フラグとをさらに用いて各メンバの回答状況に関する事項をさらに含む仮予約確認ページを生成してもよい。

#### 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

施設の識別情報と、宿泊日と、客室の部屋タイプとに対応させて、該部屋タイプの空室数を記憶している施設情報記憶手段にさらにアクセス可能であり、前記宿泊プラン情報記

憶手段は、前記宿泊プランの識別情報に対応させて、施設の識別情報と、宿泊日と、客室の部屋タイプとをさらに記憶しており、前記仮予約情報記憶手段に記憶しているいずれかの在庫数が一定の更新処理により変動したとき、該変動した在庫数に対応する施設の識別情報と宿泊日と客室の部屋タイプとの組を前記宿泊プラン情報記憶手段より読み出し、前記施設情報記憶手段に記憶している該組に対応する空室数に対して該更新処理と同一の更新処理を実行する空室数更新手段をさらに備えていてもよい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、上記課題を解決するため、本発明の一形態は、複数のメンバから成るグループを構成する各メンバの端末と、該グループを代表する幹事がWebページを介して行う宿泊プランの予約手続を支援するサーバシステムとが通信ネットワークを介して接続しているグループ予約支援システムにおけるグループ予約支援方法であって、予約番号に対応させて、幹事の識別情報、宿泊プランの識別情報及び該宿泊プランの注文数を記憶することが可能な予約情報記憶手段と、仮予約番号に対応させて、幹事の識別情報、宿泊プランの識別情報、該宿泊プランの仮注文数及び参加決定済メンバ数を記憶することが可能な仮予約情報記憶手段とにアクセス可能なサーバシステムが、前記幹事の識別情報と、前記宿泊プランの識別情報と、該宿泊プランの仮注文数とを該幹事の端末から受信する仮予約申請情報受信ステップと、前記受信した各項目を仮予約番号に対応付けて前記仮予約情報記憶手段に書き込む仮予約情報登録ステップと、前記仮予約番号に対応する仮予約識別データを少なくとも含む承認依頼メール承認依頼メールを生成し、該承認依頼メールを前記幹事以外の各メンバの端末に送信する承認依頼メール生成送信ステップと、前記幹事以外のメンバの端末から前記仮予約識別データを含む回答データを受信する回答受付ステップと、前記仮予約識別データから識別される前記仮予約番号に対応し、且つ前記回答データに基づいて更新された前記参加決定済メンバ数を取得し、該参加決定済メンバ数を宿泊プランの定員で除して得られる商以上で最小の自然数を算出し、該仮予約番号に対応する注文数を該自然数に確定する第一の注文数確定ステップと、注文数が確定した仮予約番号に対応する幹事の識別情報及び宿泊プランの識別情報と該確定した注文数とを予約番号に対応付けて前記予約情報記憶手段に書き込む予約情報登録ステップと、を実行することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

また、上記課題を解決するため、本発明の一形態は、複数のメンバから成るグループを構成する各メンバの端末と、該グループを代表する幹事がWebページを介して行う宿泊プランの予約手続を支援するサーバシステムとが通信ネットワークを介して接続しているグループ予約支援システムにおけるグループ予約支援プログラムであって、予約番号に対応させて、幹事の識別情報、宿泊プランの識別情報及び該宿泊プランの注文数を記憶することが可能な予約情報記憶手段と、仮予約番号に対応させて、幹事の識別情報、宿泊プランの識別情報、該宿泊プランの仮注文数及び参加決定済メンバ数を記憶することが可能な仮予約情報記憶手段とにアクセス可能なサーバシステムに、前記幹事の識別情報と、前記宿泊プランの識別情報と、該宿泊プランの仮注文数とを該幹事の端末から受信する仮予約申請情報受信ステップと、前記受信した各項目を仮予約番号に対応付けて前記仮予約情報記憶手段に書き込む仮予約情報登録ステップと、前記仮予約番号に対応する仮予約識別デ

ータを少なくとも含む承認依頼メール承認依頼メールを生成し、前記幹事以外の各メンバの端末に送信する承認依頼メール生成送信ステップと、前記幹事以外のメンバの端末から前記仮予約識別データを含む回答データを受信する回答受付ステップと、前記仮予約識別データから識別される前記仮予約番号に対応し、且つ前記回答データに基づいて更新された前記参加決定済メンバ数を取得し、該参加決定済メンバ数を宿泊プランの定員で除して得られる商以上で最小の自然数を算出し、該仮予約番号に対応する注文数を該自然数に確定する第一の注文数確定ステップと、注文数が確定した仮予約番号に対応する幹事の識別情報及び宿泊プランの識別情報と該確定した注文数とを予約番号に対応付けて前記予約情報記憶手段に書き込む予約情報登録ステップと、を実行させる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図21

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図21】

